

I 人口重心について

人口重心とは、人口の1人1人が同じ重さを持ち、その地域と同じ形状の平板上に人口が分布していると仮定した場合、その平板を下から支えると、傾かないで全体として平衡を保つことのできる点をいう。

平成 17・22 年国勢調査においては、総務省統計局より、基本単位区（街区又は街区に準じた地域を基準とした約 25～30 世帯の地域単位）の図形中心点にその基本単位区の人口が集まっているものと仮定して算出した各市区町村の世界測地系による人口重心が公表されている。

なお、昭和 50 年から平成 12 年までは、本市独自で、地域メッシュ（緯度経度に基づき地域を約 500m 四方の網目状に区切った単位区画）の区画毎の人口より算出した人口重心を公表しており、算出方法の相違のため単純比較はできないものの、参考値として以下に掲載・表示する。

II 名古屋市の人口重心

平成 22 年 10 月 1 日現在の本市の人口重心は昭和区御器所通 1 丁目内（北緯 35 度 8 分 58.2 秒、東経 136 度 55 分 39.5 秒）の地下鉄荒畑駅東付近にある。平成 17 年の人口重心と比較すると、引き続き東と北へ若干移動しており、守山区を始めとする、市北東部での人口増加によるものと思われる。

〔付表 1、図 1、図 2〕

付表 1 名古屋市の人口重心の推移

年 次	人 口 重 心		移 動 距 離（対 前 回）			計算の 根拠数値の 地域単位
	位 置	北緯（度・分・秒） 東経（度・分・秒）	東西方向	南北方向	純移動方向	
明治41年	中区栄三丁目	…	-	-	-	行 政 区
大正 9年	中区栄三丁目	…	東へ 10m	南へ 250m	南へ 250m	〃
14	中区栄三丁目	…	-	南へ 400m	南へ 400m	〃
昭和 5年	中区大須四丁目	…	東へ 40m	南へ 100m	南南東へ 110m	〃
10	中区大須四丁目	…	東へ 20m	南へ 160m	南へ 160m	〃
15	中区富士見町	…	東へ 60m	南へ 350m	南南東へ 350m	〃
20	中区橘一丁目	…	西へ 150m	南へ 160m	南西へ 220m	〃
25	中区富士見町	…	東へ 60m	南へ 20m	南南東へ 60m	〃
30	中区富士見町	…	東へ 90m	南へ 50m	南東へ 100m	学 区
35	中区富士見町（調査時市域）	…	東へ 20m	南へ 40m	南南東へ 50m	〃
	中区千代田四丁目（現在市域）	…	-	-	-	〃
40	中区千代田四丁目	…	東へ 270m	南へ 200m	東南東へ 340m	〃
45	昭和区鶴舞二丁目	…	東へ 210m	南へ 60m	東南東へ 220m	〃
50	昭和区鶴舞三丁目	35 9 6.6 136 55 7.8	東へ 327m	北へ 15m	東へ 328m	地域メッシュ
55	昭和区鶴舞四丁目	35 9 5.1 136 55 19.7	東へ 264m	南へ 50m	東へ 269m	〃
60	昭和区鶴舞四丁目16番	35 9 2.8 136 55 26.0	東へ 158m	南へ 70m	東南東へ 173m	〃
平成 2年	昭和区鶴舞四丁目17番	35 8 59.6 136 55 30.8	東へ 123m	南へ 99m	南東へ 158m	〃
7	昭和区御器所三丁目2番	35 8 58.3 136 55 32.4	東へ 40m	南へ 41m	南東へ 57m	〃
12	昭和区紅梅町1丁目	35 8 57.3 136 55 35.9	東へ 89m	南へ 32m	東南東へ 95m	〃
17	昭和区御器所通1丁目	35 8 57.8 136 55 37.7	東へ 46m	北へ 15m	東へ 48m	基本単位区
22	昭和区御器所通1丁目	35 8 58.2 136 55 39.5	東へ 46m	北へ 12m	東へ 47m	〃

注1）明治41年から昭和35年の旧市域の人口重心は、昭和35年当時の市域による人口分布により算出している。したがって、現在の守山区及び緑区の区域は含んでいない。

注2）緯度・経度の表示は世界測地系により、昭和50年から平成12年は本市の、平成17年からは総務省の推計値である。

Ⅲ 区別の人口重心

平成 22 年 10 月 1 日現在の区別の人口重心は付表 2 のとおりとなっている。なお、平成 17 年の人口重心と比較すると、千種区、北区、西区、中区、昭和区、瑞穂区、熱田区、中川区、港区、名東区及び天白区の 11 区では、東西南北に 1 秒未満の移動となっており、人口重心は大きく変化していない。東方向及び北方向に最も移動したのは、志段味地区での人口増加が続いている守山区で、東へ 2.6 秒、北へ 4.1 秒移動している。西方向に最も移動したのは東区で、都心近郊を中心に人口が増加しているのがうかがえる。また最も南方向に移動したのは緑区で、南西部での人口増加が続いており、2.9 秒の移動となっている。

〔付表 2、図 1、図 2〕

付表 2 区別の人口重心の推移

区 別	平成22年10月1日			平成17年10月1日			重心移動(秒)	
	位 置	北緯(度・分・秒) 東経(度・分・秒)	北緯(度・分・秒) 東経(度・分・秒)	北緯(度・分・秒) 東経(度・分・秒)	東 へ	北 へ		
全 市	昭和区御器所通1丁目	35 8 58.2 136 55 39.5	35 8 57.8 136 55 37.7	35 8 57.8 136 55 37.7	1.8	0.4		
千 種 区	姫池通1丁目	35 10 17.0 136 57 27.6	35 10 17.1 136 57 28.5	35 10 17.1 136 57 28.5	-0.9	-0.1		
東 区	新出来一丁目1番	35 10 56.3 136 55 50.8	35 10 57.7 136 55 53.0	35 10 57.7 136 55 53.0	-2.2	-1.4		
北 区	金田町5丁目	35 12 28.3 136 55 10.4	35 12 28.0 136 55 10.2	35 12 28.0 136 55 10.2	0.2	0.3		
西 区	新福寺町1丁目	35 12 17.8 136 53 6.1	35 12 17.7 136 53 6.2	35 12 17.7 136 53 6.2	-0.1	0.1		
中 村 区	中村本町2丁目	35 10 1.1 136 51 38.6	35 10 1.1 136 51 37.0	35 10 1.1 136 51 37.0	1.6	0.0		
中 区	大須四丁目10番	35 9 32.9 136 54 24.1	35 9 33.0 136 54 24.4	35 9 33.0 136 54 24.4	-0.3	-0.1		
昭 和 区	広路本町3丁目	35 8 53.1 136 56 29.8	35 8 53.2 136 56 30.1	35 8 53.2 136 56 30.1	-0.3	-0.1		
瑞 穂 区	膳棚町1丁目	35 7 32.2 136 56 11.8	35 7 32.4 136 56 11.6	35 7 32.4 136 56 11.6	0.2	-0.2		
熱 田 区	一番一丁目2番	35 7 41.0 136 53 54.8	35 7 40.5 136 53 54.3	35 7 40.5 136 53 54.3	0.5	0.5		
中 川 区	中郷一丁目	35 8 22.7 136 50 53.5	35 8 22.2 136 50 54.0	35 8 22.2 136 50 54.0	-0.5	0.5		
港 区	寛政町7丁目	35 6 19.7 136 51 27.3	35 6 19.7 136 51 28.1	35 6 19.7 136 51 28.1	-0.8	0.0		
南 区	荒浜町5丁目	35 5 51.4 136 55 26.4	35 5 50.6 136 55 25.3	35 5 50.6 136 55 25.3	1.1	0.8		
守 山 区	緑ヶ丘	35 12 31.6 136 59 2.4	35 12 27.5 136 58 59.8	35 12 27.5 136 58 59.8	2.6	4.1		
緑 区	相原郷一丁目	35 4 51.9 136 58 20.2	35 4 54.8 136 58 18.9	35 4 54.8 136 58 18.9	1.3	-2.9		
名 東 区	一社三丁目	35 10 12.3 137 0 16.3	35 10 13.2 137 0 15.7	35 10 13.2 137 0 15.7	0.6	-0.9		
天 白 区	池場三丁目	35 7 22.9 136 59 6.6	35 7 22.7 136 59 6.5	35 7 22.7 136 59 6.5	0.1	0.2		

注) 緯度・経度の表示は世界測地系による。

図1 全市・区別の人口重心の移動値（平成17年→平成22年）

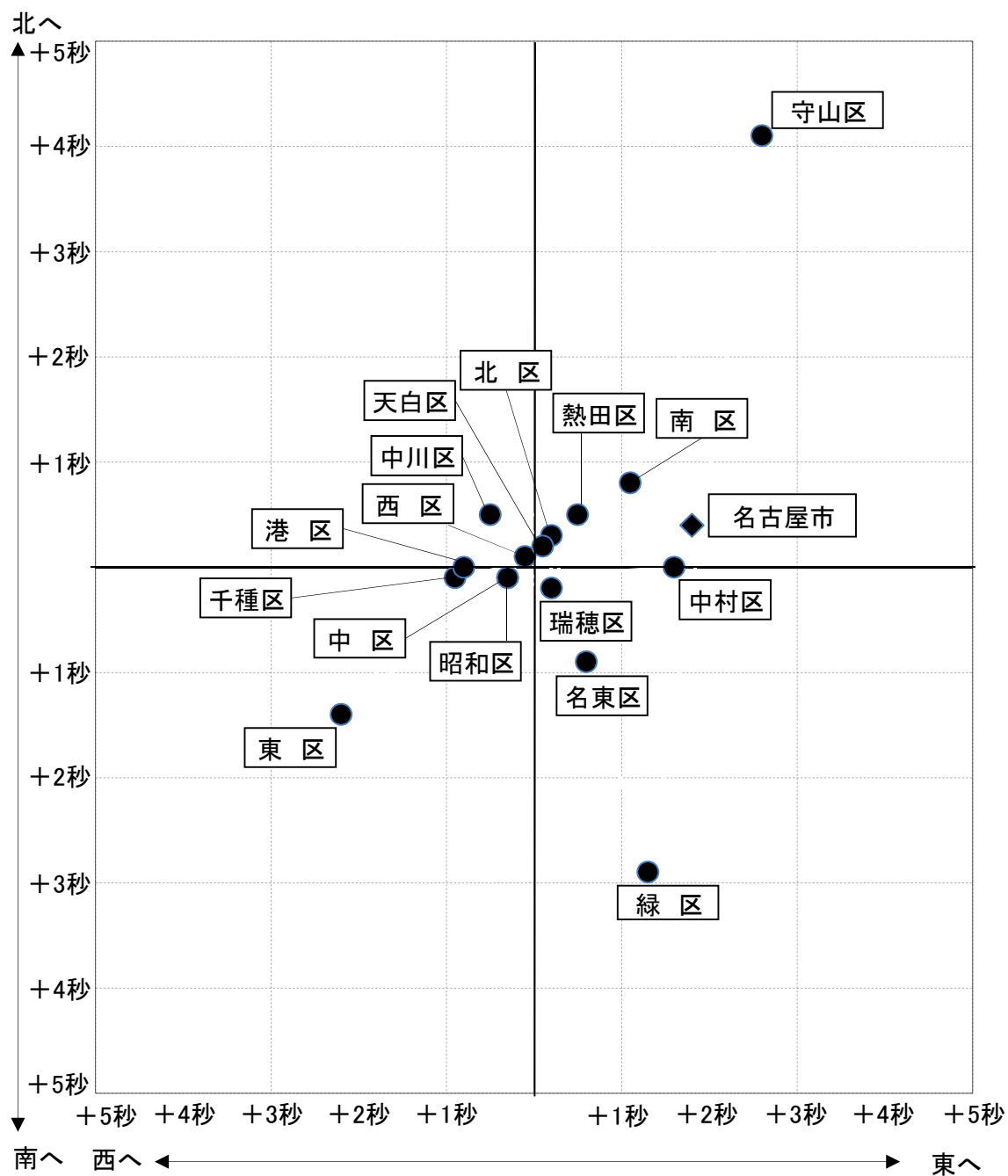
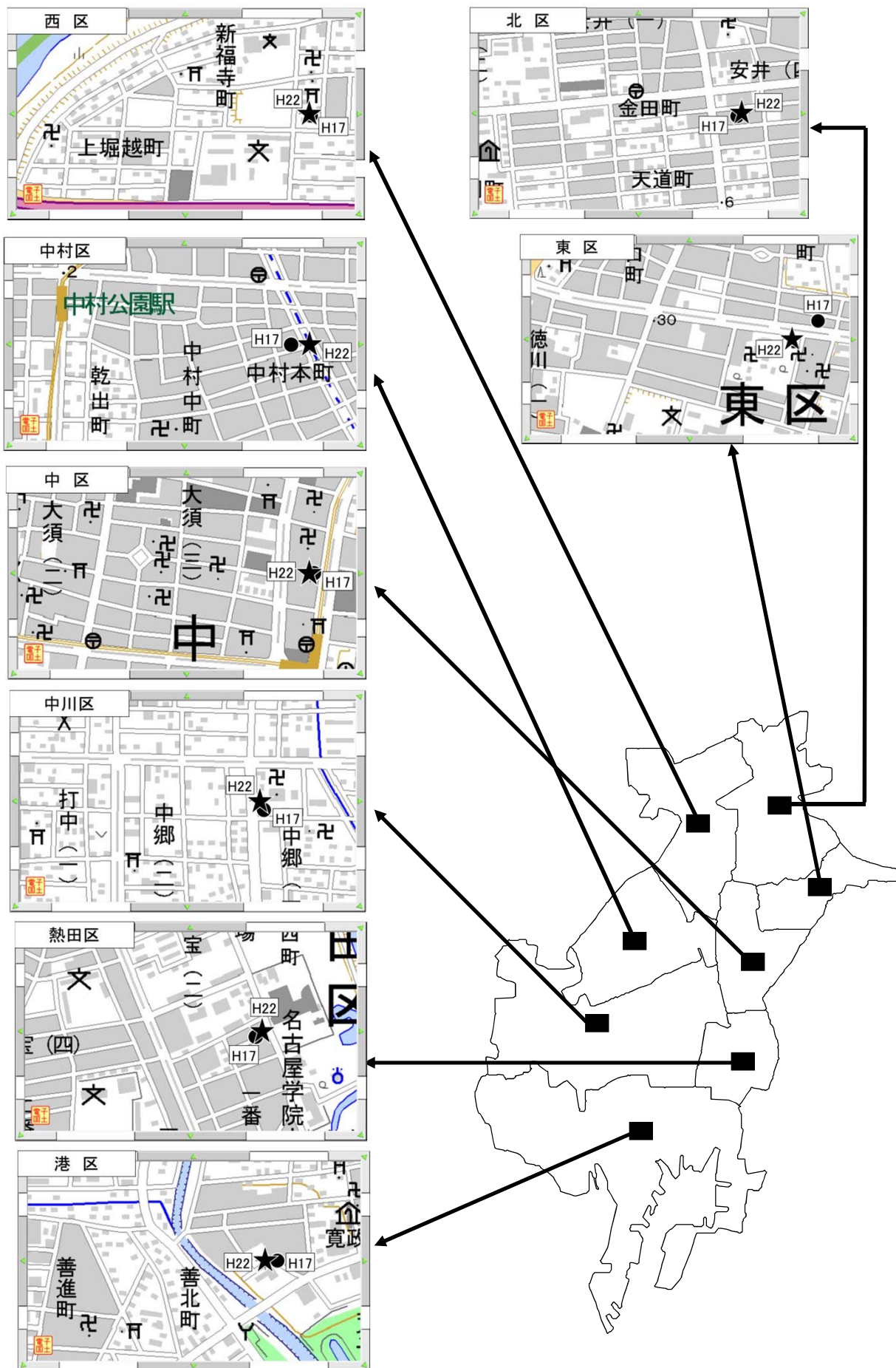
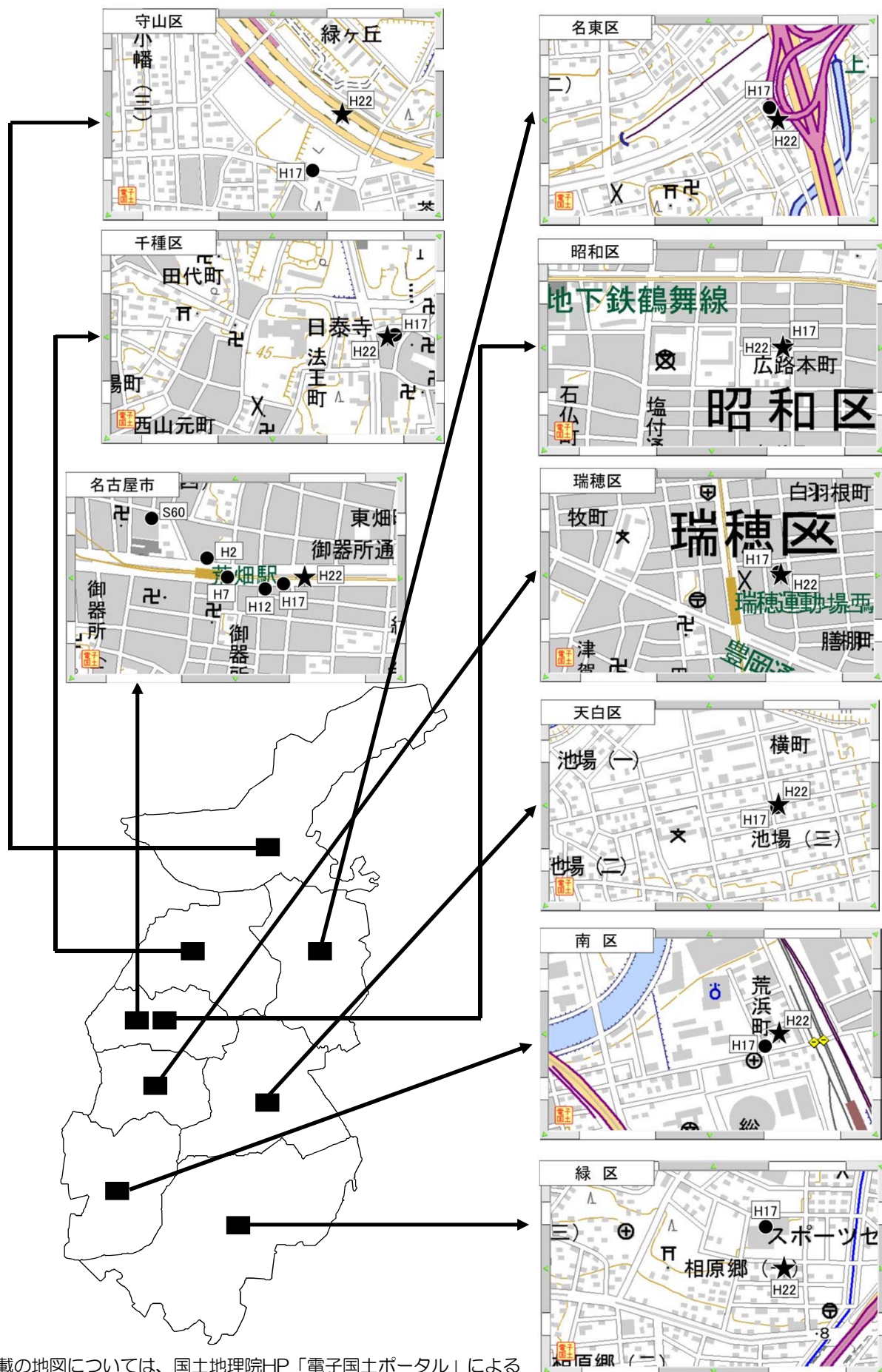


図2 全市・区別の人口重心の推移（市：昭和60年→平成22年）
（区：平成17年→平成22年）





掲載の地図については、国土地理院HP「電子国土ポータル」による